

1. I. 一般規則

- 1.1. このペア碁規則は、2025年ヨーロッパ碁大会（EGC 2025）期間中に行われるペア碁トーナメントに直接適用されます。
 - 1.2. 領地計算による欧日口頭規則を適用し、コミは6.5目、日本式補填計算を用います。
 - 1.3. ペア碁規則で定められていない事項は、EGC 2025 トーナメント規則が適用されます。
 - 1.4. EGC 2025 不正行為防止規則が例外なく適用されます。
-

2. II. ペア碁特有の規則

- 2.1. 試合は男女ペアのチーム同士で行われ、各チームのメンバーは「パートナー」と呼ばれます。
- 2.2. 組合せ（および最終グループで適用される場合のハンディキャップ）では、パートナー両者の平均レーティングに基づきチームの段級位が算出されます。
- 2.3. パートナーは盤を挟んで向かい合い、女性同士、男性同士が向かい合います。
- 2.4. 白番チームが時計の配置を決定する権利を持ちます。
- 2.5. 無用な妨げを防ぐため、各パートナーは自身の碁笥を持ち、時計側に座るプレイヤーが手を打った後に時計を押すことが推奨されます。
- 2.6. 手順は次の通りです：黒の女性 → 白の女性 → 黒の男性 → 白の男性 → ...
- 2.7. 試合中、パートナー間での情報伝達（口頭、ジェスチャー、サインなど）は一切禁止されます。違反時は反則負けとなり、疑義がある場合は主審が最終判断を行います。
- 2.8. ただし、以下は例外です：
 - a) 時計を押すことの促し（2.5項に基づく）
 - b) 手番確認の問いかけ（「私の番ですか？」など）
 - c) 手番のプレイヤーがパートナーに投了意思を確認する場合。回答は「はい」「同意する」または「いいえ」「同意しない」と短くし、その他の助言は禁止します。
- 2.9. 投了宣言は手番のプレイヤーのみが行え、宣言後の撤回はできません。
- 2.10. 試合中、両者同時に卓を離れることはできず、最低1人は卓に残る必要があります。

2.11. EGC 2025 トーナメント規則 7.9 項に基づき時計中立化を求めることができますが、d 項（トイレ休憩）は除外されます。時計を中立化できるのは：

- a) 石を 3 個以上取り除く時
 - b) 手順ミスが発見された時
 - c) 審判呼び出し時
 - d) 終局後、計算前
-

3. III. 手順エラー

- 3.1. パートナーが通常の手順から外れて打つと、手順エラーとなります。
 - 3.2. エラーは直後にのみ主張できます。
 - 3.3. 意図的・複数回の場合、審判が確認し主審が反則負けを決定します（不服申立不可）。
 - 3.4. 意図せず起き、相手チームの直前エラーがない場合は 3 目罰則（取り石 3 個）後、新しい手順で再開します。
 - 3.5. 相手の直前エラーがあった場合は罰則なく新しい手順で再開します。
 - 3.6. 同一チームが連続 2 回目の非意図的エラーをすると 3 目罰則となり、意図的エラーとして審判に提訴できます。
 - 3.7. 3 回目の場合、自動的に意図的エラーと見なされ反則負けになります。
 - 3.8. いかなる場合も手は取り消されず、最後の打手を基点に手順を再開します。
-

4. IV. トーナメント方式、持ち時間、遅刻

- 4.1. 16 チームずつ実力順にグループ分けされ、予選で 4 強が決まるまでトーナメント表に従い進行します。
 - 4.2. 総数により最終グループは 16～31 チームとなり、16 超の場合は別の方式で 4 強を選出します。
 - 4.3. 持ち時間はチーム当たり 25 分+10 秒フィッシャー方式です。
 - 4.4. 各ラウンド開始 5 分前には着席必須で、許容遅刻は 15 分です。
 - 4.5. パートナーの一方でも超過した場合、反則負けとなり、次ラウンド以降出場できません。
-

5. V. 組合せ・結果

5.1. 組合せは大会開始前に掲示され、各ラウンド後更新されます。

5.2. 結果は他大会同様、掲示・オンライン等で公開されます。

ペア碁トーナメント主審承認

パスカル・ミュラー (Pascal Müller)